

株主通信 Vol.13

2008年3月期(2007.4.1~2008.3.31)



Insight and Information

タイのフィルター製造子会社が本格稼働

2007年2月設立のタイの製造子会社「タイシントードメッシュ」が、2008年3月から本格的な生産を開始しました。拡大する石油掘削用フィルターの製造拠点として、順調に稼働しています。

Contents

事業紹介	2
株主の皆さまへ	4
特集①: 新経営方針と組織再編	8
特集②: アッセンブリ事業の展開	10
TOPICS	11
主要連結財務諸表	12
会社概要/株式情報	14

証券コード6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

事業間シナジーとグローバル展開の強化を目的に、 組織体制を再編しました

事業と製品

ネットシェイプ事業



理想の加工法で 金型と鍛造品を開発・生産

生産性を大幅に向上させる理想の加工技術「ネットシェイプ」を核に、精密鍛造金型の開発、設計、生産および精密鍛造品の生産まで行うトータルエンジニアリング力が強み。

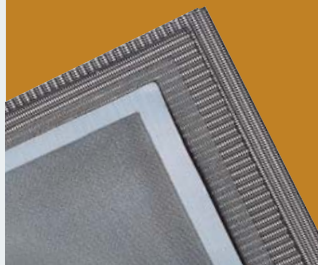
アッセンブリ事業



自動車の環境負荷を 抑制する部品を組立生産

地球環境保全のため各国で高まる自動車の環境規制。ディーゼルエンジン車に搭載され、環境負荷物質の排出を抑制する「VGターボチャージャー」の部品を組立生産しています。

フィルタ事業



独自の積層焼結技術で 産業用フィルターを開発・生産

液体やガス、オイルなどをろ過するために不可欠な各種産業用フィルターを開発・生産。独自の積層焼結技術によって、高品質で耐久性に優れ、再利用可能な製品を提供しています。

顧客企業

自動車部品メーカーに幅広く供給

ネットシェイプ加工は、金属を常温で、削ることなく、1回のプレスで複雑な部品形状に成形できることから、特に自動車部品の大量生産に適しています。

そのため顧客の80%は自動車関連企業。特定顧客に依存せず、多くの国内メーカーの系列部品企業と取引しています。



欧州向けディーゼルエンジン車に搭載

VGターボチャージャーは、主に欧州向けディーゼルエンジン乗用車に搭載。環境規制強化によって大幅な需要の伸びが予想されています。



高性能フィルターを多様な産業 に供給

石油化学、ガス、原子力などのエネルギー産業から、プラスチックなどの化学産業、医薬品や食品産業、さらには宇宙ロケットなどの航空宇宙産業まで、多様な産業分野で活躍しています。

特にアジアでは、石油掘削用フィルターの需要が増大しています。



液晶工場



飲料生産ライン



石油化学



ロケット

© JAXA

関係会社



ニチダイ

ニチダイグループを統括。コア技術によりグループシナジーを創出。



ニチダイアメリカ

主に、北米において現地部品生産を行う日系メーカー向けの金型生産を担う連結子会社。



ニチダイプレジジョン

部品事業アッセンブリ部門を分社化し、2008年4月に設立した連結子会社。



ニチダイタイランド(2009年完成予定)

2008年4月にタイのアマタナコン工業団地に設立。今後成長が見込まれるVGターボチャージャー部品の組立を担う。



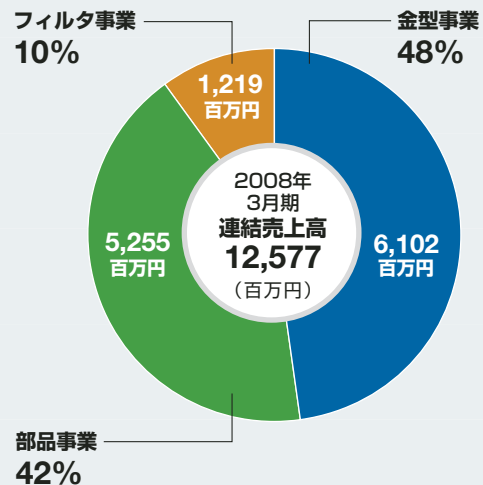
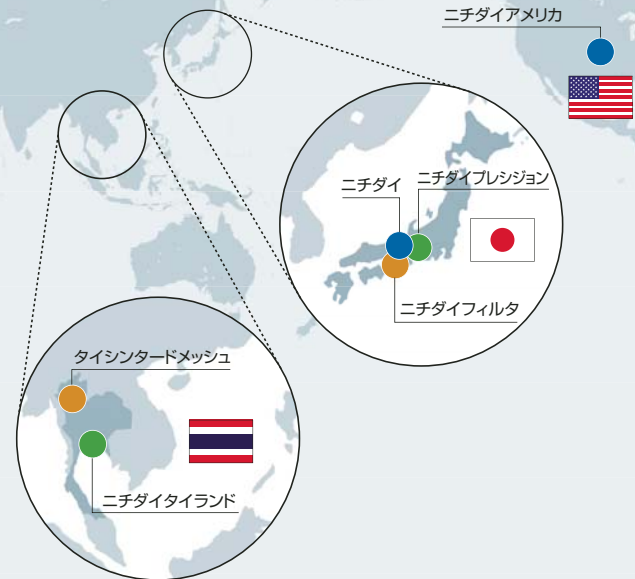
ニチダイフィルタ

フィルタ事業を担う連結子会社。2004年に事業を分社化して設立。



タイシンタードメッシュ

合併でタイのランブーン県に設立したフィルタ製造の連結子会社。石油掘削用フィルターの生産を行う。



*2008年3月期以前の業績は旧事業セグメントで記載しています。
2008年4月から旧部品事業のうち精密鍛造品生産が旧金型事業に加わり、ネットシェイプ事業になり、その他の旧部品事業がアッセンブリ事業となりました。

各事業とも増収を達成。海外子会社の設立を含む組織再編によって、次なる成長段階へと踏み出します。



代表取締役社長 **古屋 元伸**
(ふるや もとのぶ)

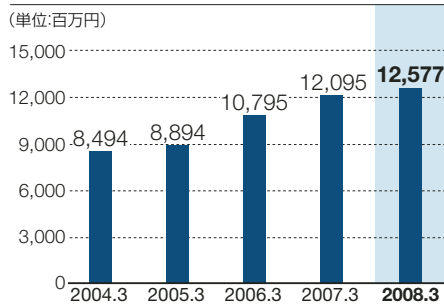
株主の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
2008年3月期における当社グループの業績と今後の展開について、
ご質問にお答えする形でご説明いたします。

株主の皆さまからのご質問にお答えします

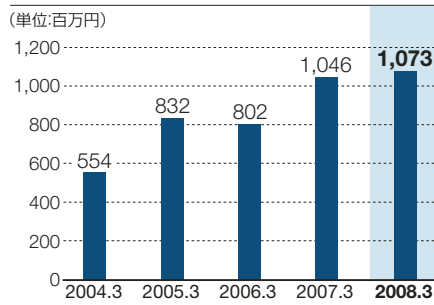
Q 当期の業績の概要と配当について教えてください。

A 当連結会計年度における連結売上高は125億7千7百万円(前期比4.0%増)、連結経常利益は10億7千3百万円(同2.6%増)と増収増益を達成することができました。当期純利益に関しましては、2008年2月18日付の業績予想の修正でお知らせしましたように、福利厚生制度の見直しにより日本金型工業厚生年金基金から脱退したため、その特別掛金2億2百万円を

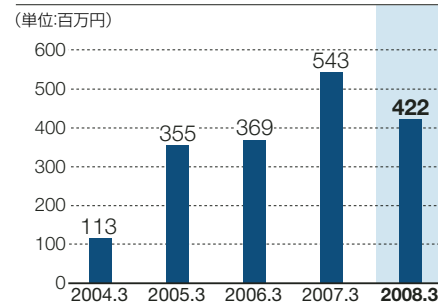
売上高(連結)



経常利益(連結)



当期純利益(連結)



特別損失として計上したこと等によって4億2千2百万円(前期比22.2%減)となりました。

事業分野別では、3事業すべてで増収を達成することができませんでした。金型事業では、上半期は新規案件の減少によって売上高が停滞しましたが、下半期に入り国内の主力ユーザーの需要増加や新規ユーザーからの受注があり増加傾向に転じました。

部品事業では、ディーゼルエンジン車用のVGターボチャージャー部品の組立生産が安定的に推移したことに加え、自動車部品メーカーからの受託生産など精密鍛造品の生産が増加したことから売上が増加しました。フィルタ事業においても、航空宇宙産業向けやアジアを中心とした海外向けが牽引し、売上増となりました。また、2007年2月に設立したタイの合弁会社「THAI SINTERED MESH CO.,LTD.」は、工場監査を経て、2008年3月から石油掘削用フィルターの本格生産を開始しました。

当期の配当金につきましては、すでに実施済みの中間配当金

8円に期末配当金8円を加え、通期で1株につき16円の配当金とさせていただきます。

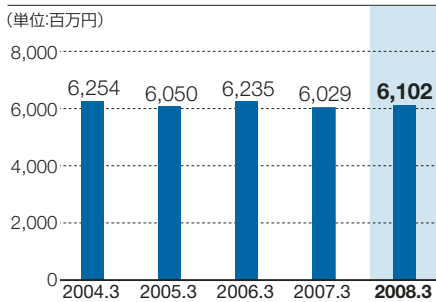
Q 当期で最終年度となる中期経営計画の総括は？

A 2006年3月期を初年度とした3カ年の中期経営計画を振り返ると、売上高はおおむね計画どおりで推移しましたが、利益面では計画を下回る結果となりました。その要因は、当初計画で前提とした事業構造が経営環境の変動等によって大きく変化したことにあります。

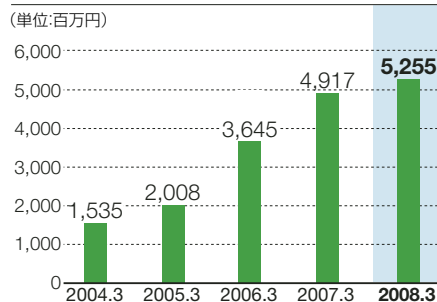
金型事業では、米系自動車メーカーの業績不振などの市場変化によって売上高が計画を下回りましたが、VGターボチャージャー部品組立が急成長した部品事業、用途開拓や海外展開を推進したフィルタ事業はともに計画を上回る成長を遂げることができました。

なお、中期経営方針の詳細は、8～9ページでご説明しています。

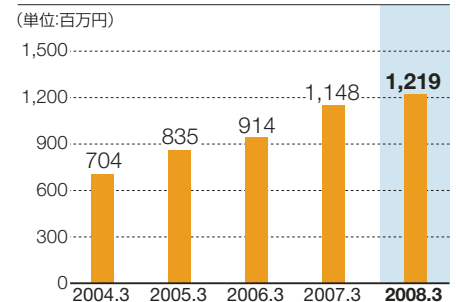
金型事業売上高推移(連結)



部品事業売上高推移(連結)



フィルタ事業売上高推移(連結)



* 2008年3月期以前の業績は旧事業セグメントで記載しています。

Q 今後の方針と組織再編について教えてください。

A 次期より次の施策を実行して、経済環境の変化に迅速に対応しながら、「成長と挑戦」をキーワードにグループの成長を図っていきます。

第一に、金型事業に、当期まで部品事業に含んでいた精密鍛造品部門を包括し、ネットシェイプ事業といたします。これは、コアビジネスである金型部門と精密鍛造品部門を融合させ、当社の強みであるトータルエンジニア力を再強化し、精密鍛造分野における新用途開拓を推進することを目的としています。

第二に、部品事業のアッセンブリ部門を分社化します。アッセンブリ部門の主力事業であるVGターボチャージャー部品組立は、欧州を中心とした環境規制の強化に対応した需要の増大、



日系VGターボチャージャーメーカーの海外展開による市場の拡大が予想されます。こうした経営環境の変化に柔軟かつ機動的に対応するため、「ニチダイプレジジョン株式会社」を設立してアッセンブリ部門を移管します。

(詳細はP10をご参照ください)

第三に、VGターボチャージャー部品の組立生産の拡大に対応して、タイ王国に「NICHIDAI (THAILAND) LTD.」を設立します。これは、顧客のグローバル展開に対応した形で生産増強を担うとともに、当社グループにおけるアジア戦略の重要な

実績および次期業績予測

(単位:百万円)

	2007年3月期	2008年3月期		2009年3月期		
	実績	実績	伸び率	計画	伸び率	
単独	売上高	10,619	11,050	4.1%	7,300	-
	売上総利益	2,399	2,662	10.9%	2,180	-
	販売管理費	1,397	1,550	11.0%	1,340	-
	営業利益	1,002	1,111	10.9%	840	-
	営業外損益	△119	△122	-	△90	-
	経常利益	883	989	12.0%	750	-
	当期純利益	△372	315	-	370	-
連結	売上高	12,095	12,577	4.0%	12,900	2.6%
	売上総利益	2,808	3,051	8.7%	3,120	2.2%
	販売管理費	1,669	1,845	10.6%	1,910	3.5%
	営業利益	1,139	1,205	5.8%	1,210	0.4%
	営業外損益	△92	△132	-	△110	-
	経常利益	1,046	1,073	2.6%	1,100	2.4%
	当期純利益	543	422	△22.2%	560	32.6%

* 2008年4月1日付で、アッセンブリ部門を分社化したため、2009年3月期計画の単独の伸び率は記載しておりません。

2009年3月期計画(部門別売上高)

(単位:百万円)

事業	2008年3月期	2009年3月期	
	実績	計画	伸び率
ネットシェイプ	7,548	7,620	1.0%
アッセンブリ	3,809	3,680	△3.4%
フィルタ	1,219	1,600	31.2%
連結計	12,577	12,900	2.6%

* 百万円未満は切り捨て。

拠点として位置づけていきます。

こうした施策によって、当社グループの事業を「ネットシェイプ事業」「アッセンブリ事業」「フィルタ事業」の3事業に再編し、各事業すべてに海外拠点を有してグローバルな事業展開を進めていきます。

Q 次期の計画を教えてください。

A 次期は、原材料価格の高騰、北米市場の減速、為替相場の変動など経済環境は厳しくなる一方、自動車産業における海外生産の増加や環境関連製品の開発推進の傾向は継続するものと見込んでいます。

このような状況のもと、当社グループは次期の連結売上高は129億円(前年同期比2.6%増)、連結営業利益12億1千万円(同0.4%増)、連結経常利益11億円(同2.4%増)を計画しています。

ネットシェイプ事業では、トータルエンジニア力を活かし、新規

用途開発や海外での現地生産立ち上げなどの新規ニーズに対応し、売上高増加に結びつけていきたいと考えています。

アッセンブリ事業では、上半期は欧州における自動車の排気ガス規制(EURO5)強化に伴う品種変更時期にあたるため、VGターボチャージャー部品が前年対比で減産となるものの、下半期からの増加を見込んでいます。

フィルタ事業は、国内投資環境が厳しいなか、国内では前期と同水準の売上高となります。一方、海外ではTHAI SINTERED MESH CO.,LTD.が、活発化する油田開発による石油掘削用フィルタ等の需要増大に対応し成長の源泉となり、次期からの黒字化を計画しています。

また配当につきましては、当期と同じく通期で1株当たり16円の配当金を予定しています。

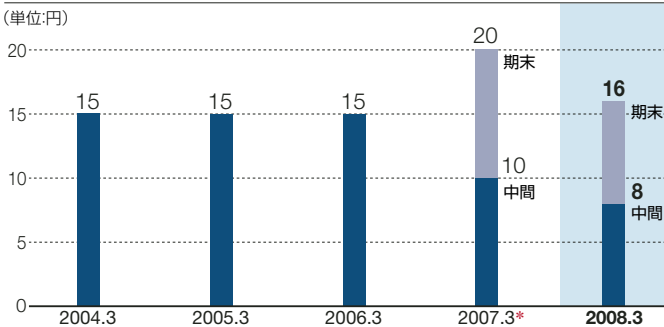
当社グループは、「成長と挑戦」をキーワードに、事業間のシナジー追求、グローバル体制の強化などの重点施策を迅速に推進し、次なる成長段階へ踏み出したいと考えています。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導、ご鞭撻を賜り、ニチダイグループのさらなる成長にご期待いただきたいと心より願っております。

2008年6月

代表取締役社長 古屋 元伸

1株当たり配当金



* 2007年3月期の中間および期末配当は、それぞれ普通配当7円50銭、記念配当2円50銭を加えた合計10円でした。

事業間シナジーの追求とグローバル展開の強化による成長

終了した中期経営計画における課題

当社グループが2006年3月期から3カ年で進めた中期経営計画は、2008年3月期で終了しました。この間、新事業であるアッセンブリ部門の成長などがあり、ほぼ計画どおりの売上高を達成しましたが、想定した事業構成に差異が生じたため利益面では計画を下回りました。

こうした中で浮かび上がった課題は、「グローバル展開の強化」「研究開発力の強化」「事業間の連携強化」の3点です。

組織を再編し重点施策を推進

上記の課題解決に向け、当社グループは2008年度から組織を再編し、「成長と挑戦」をキーワードとした2つの重点施策を推進していきます。

1 事業間の連携強化による技術開発と新用途開拓の推進

研究開発と新用途開拓の強化を目的として、2008年4月1日付で組織再編を実施しました。再編の一つのポイントは、金型部門と精密鍛造品部門を包括しネットシェイプ事業としたことです。事業間のシナジーを追求しながら、増加が予想される開発ニーズに迅速に対応する体制としました。

2 海外拠点確立によるグローバル展開の推進

組織再編のもう一つのポイントは、3事業ともグローバルな生産拠点を配置する体制としたことです。

主要顧客業界である国内自動車メーカーでは、引き続き海外生産を拡大していくことが予想され、当社グループでも海外ニーズの取り込みが重要な課題となります。2008年4月設立の「NICHIDAI (THAILAND) LTD.」は、アッセンブリ事業における生産増強のみならず、今後、ネットシェイプ事業も含めて当社グループのアジア戦略の要としての役割を担っていく計画です。

終了した中期経営計画の実績

(単位:百万円)

	2005年3月期	2006年3月期		2007年3月期		2008年3月期	
	実績	中期計画	実績	中期計画	実績	中期計画	実績
売上高	8,894	10,400	10,795	11,500	12,095	12,700	12,577
金型事業	6,050	6,400	6,235	6,900	6,029	7,300	6,102
部品事業	2,008	3,100	3,645	3,600	4,917	4,300	5,255
フィルタ事業	835	900	914	1,000	1,148	1,100	1,219
経常利益	832	1,000	802	1,250	1,046	1,420	1,073
売上高経常利益率	9.4%	9.6%	7.4%	10.9%	8.6%	11.2%	8.5%

* 百万円未満は切り捨て。



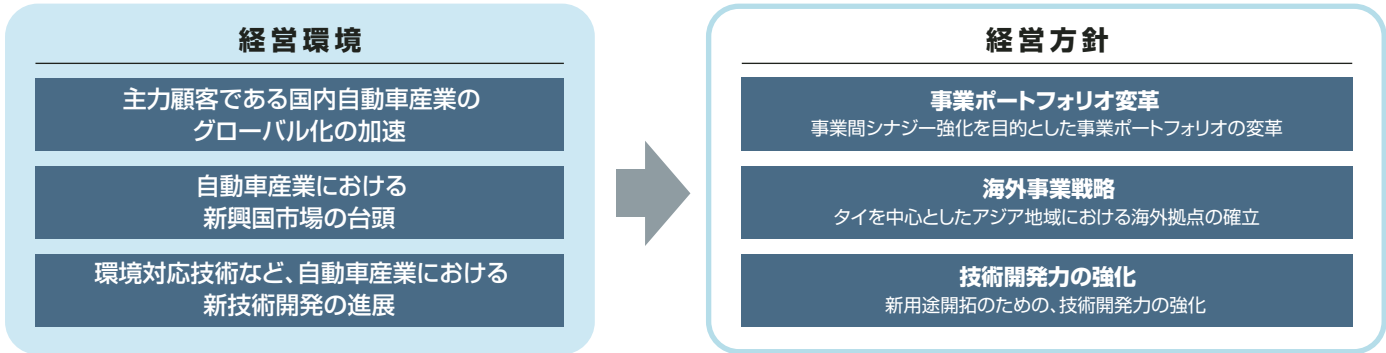
NEW

重点施策

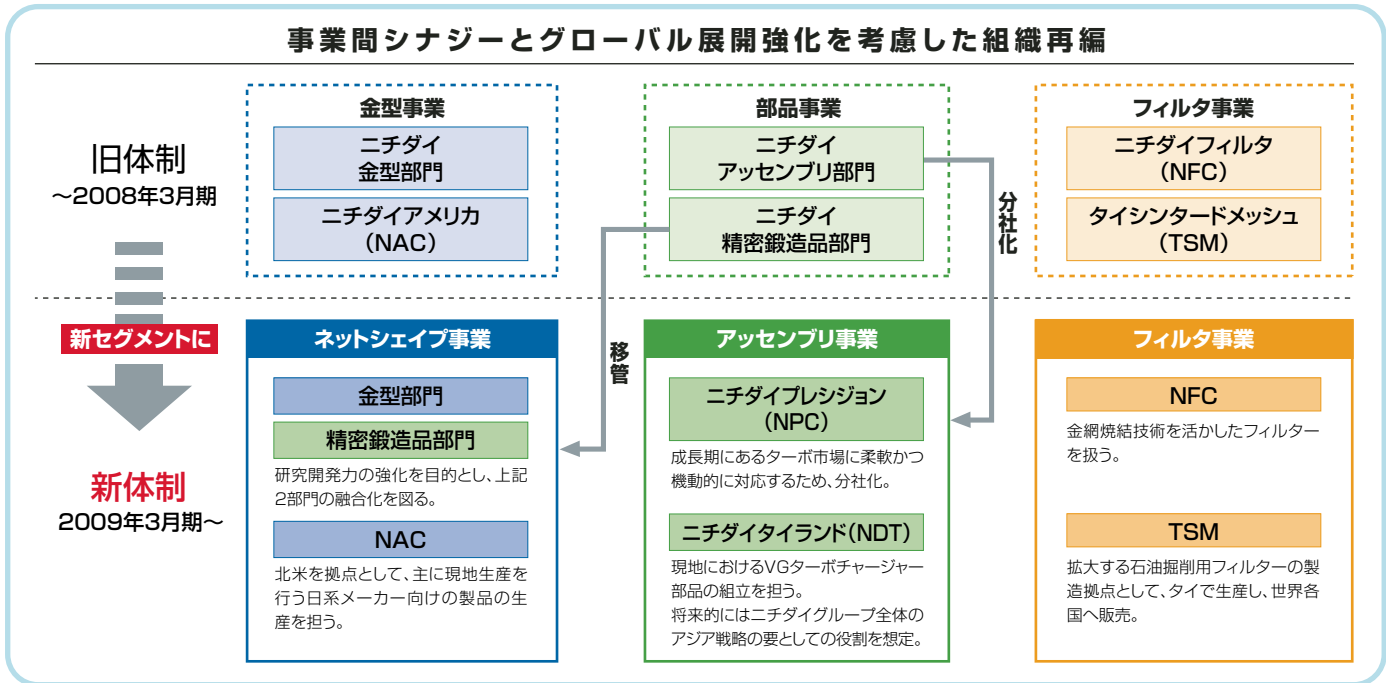
事業間連携強化を伴う
技術開発および新用途の開拓

海外拠点確立による
グローバル展開の推進

経営環境と経営方針



中期経営方針～組織再編



アセンブリ事業を分社化し、「ニチダイプレジジョン株式会社」(NPC)を設立 同時に、海外拠点「ニチダイタイランド」(NDT)を設立



ニチダイプレジジョン株式会社
副社長

島崎 定
(しまさき さだむ)

Q 新会社設立の背景と目的を教えてください。

A アセンブリ事業で扱うVGターボチャージャーは、ディーゼルエンジンの排ガス規制をクリアするために不可欠な部品です。欧州では、乗用車の半数がディーゼル車ですが、新たな環境規制によって需要増大が見込まれ、参入業者の増加やメーカーの海外展開など業界の動きが加速しています。

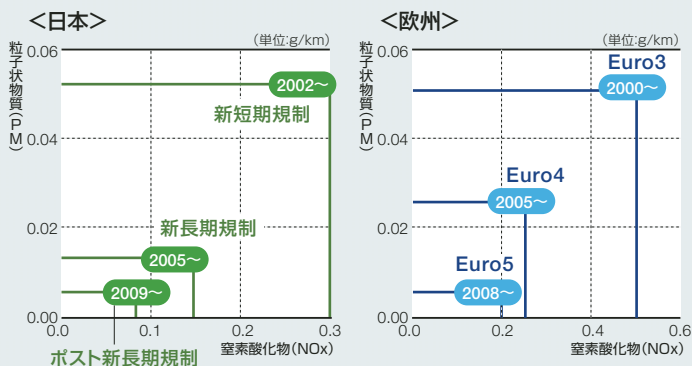
こうした環境変化に機動的かつ、柔軟に対応するため、部品事業に属するアセンブリ部門を分社化しNPCを設立、また、顧客の海外生産に対応して、タイに「ニチダイタイランド」(NDT)を設立しました。

Q 今後の事業展開について教えてください。

A VGターボチャージャー市場は、今後、大きな需要増加が予想されます。NDTはその組立生産拠点として重要な役割を担うために、2009年6月からの供給開始に向けて、工場建設と円滑な生産体制確立のための準備を進めています。

一方、国内では、ネットシェイプ事業の精密鍛造技術を活用して、VGターボチャージャー部品の内製化を検討しています。このようにアセンブリ事業は、次なる成長ステージに移行したと考えています。

日欧のディーゼルエンジン排ガス規制



VGターボチャージャー部品生産風景



NICHIDAI (THAILAND) LTD. 完成予想図

ニチダイタイランド設立 タイムスケジュール

年	2008年	2009年	2010年
スケジュール	08/4 会社設立 → 08/12 工場完成	09/6 試作生産開始	10/1 本格生産開始
売上高	—	2.5億円	15億円
従業員数	—	—	約70名を予定

「ものづくり改革プロジェクト」が稼働

当社は2007年12月から生産体制の強化を目的として、外部からコンサルタントを招いた「ものづくり改革プロジェクト」に取り組んでいます。培ってきた精密鍛造金型製造技術を継承していく仕組みをつくとともに、生産体制の抜本的な改善を図る数年がかりのプロジェクトです。

高度な金型生産には、100分の1mm単位の精度を扱う人的技能が必要です。当プロジェクトではこうした優れた技能を世代継承すると同時に、技能の標準化を図る仕組みづくりを進めます。一方、作業や体制のムダやムリを抽出して、生産効率を飛躍的に高めていきたいと考えており、今後、具体的な数値目標を設定していく計画です。



テレビ東京系の経済番組で紹介されました

2008年2月25日、テレビ東京の経済ニュース番組「株式ワイド オープニングベル」で当社が紹介され、テレビ東京をはじめとした系列各局で放送されました。

同番組の新興上場企業にスポットを当てた“出発新興”のコーナーで3分間にわたり放送されたもので、当社の固有技術であるネットシェイプの特長とともに、このコア技術を源泉としてフィルタ事業等へ展開する当社グループを紹介する内容でした。

コメンテーターの日経産業新聞編集長・近藤勝義氏は、「金型は技術の塊であり、高い技術を維持するための人材確保と技術伝承をうまくやる必要がある」と話され、「ものづくり改革プロジェクト」を推進する当社の取り組みを示唆するものとなりました。



当社ホームページの「新着情報」から、放送された動画へリンクしています。
<http://www.nichidai.jp/>



主要連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 区分	前期	当期
	2007年 3月31日現在	2008年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	1,179	1,008
1 受取手形及び売掛金	3,457	2,989
2 たな卸資産	1,285	1,503
その他	111	127
貸倒引当金	△ 26	△ 23
流動資産計	6,007	5,605
固定資産		
有形固定資産	5,714	5,817
無形固定資産	50	43
投資その他の資産	279	252
固定資産計	6,044	6,114
繰延資産計	8	18
資産合計	12,060	11,738

* 百万円未満は切り捨て。

Check Point

- 1 売掛金の減少**
アッセンブリ事業における売掛金の減少。
- 2 たな卸資産の増加**
金型事業、アッセンブリ事業の増加による。
- 3 1年以内に償還予定の社債の減少**
前期に、2007年11月償還の社債20億円を含む。
- 4 社債の増加**
無担保社債10億円の発行による。

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 区分	前期	当期
	2007年 3月31日現在	2008年 3月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	655	749
短期借入金	359	754
一年以内に返済予定の長期借入金	993	652
3 一年以内に償還予定の社債	2,020	20
未払法人税等	288	210
賞与引当金	120	133
その他	468	517
流動負債計	4,905	3,037
固定負債		
4 社債	30	1,010
長期借入金	690	808
退職給付引当金	20	6
長期未払金	—	137
固定負債計	741	1,962
負債合計	5,646	5,000
(純資産の部)		
資本金	1,429	1,429
資本剰余金	1,191	1,192
利益剰余金	3,757	4,017
為替換算調整勘定	△ 28	△ 9
その他	13	7
少数株主持分	50	100
純資産合計	6,413	6,738
負債・純資産合計	12,060	11,738

* 百万円未満は切り捨て。

連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	前期	当期
	2006年4月1日から 2007年3月31日まで	2007年4月1日から 2008年3月31日まで
売上高	12,095	12,577
5 売上原価	9,286	9,525
売上総利益	2,808	3,051
6 販売費及び一般管理費	1,669	1,845
営業利益	1,139	1,205
営業外収益	21	50
営業外費用	114	182
経常利益	1,046	1,073
特別利益	12	2
特別損失	20	238
税金等調整前当期純利益	1,038	838
法人税、住民税及び事業税	468	430
法人税等調整額	27	△ 2
少数株主損失	—	12
当期純利益	543	422

* 百万円未満は切り捨て。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前期	当期
	2006年4月1日から 2007年3月31日まで	2007年4月1日から 2008年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	799	1,389
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 399	△ 573
7 財務活動によるキャッシュ・フロー	45	△ 981
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 4
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	444	△ 171
現金及び現金同等物の期首残高	385	829
現金及び現金同等物の期末残高	829	658

* 百万円未満は切り捨て。

Check Point

5 売上原価の増加

人件費の増加=アッセンブリ部門の人員強化による。
在庫の増加=金型事業、アッセンブリ事業の在庫増加。

6 販売費及び一般管理費の増加

人件費の増加 部品事業アッセンブリ部門海外プロジェクトの推進の
ための人員増。内部統制構築のための人員強化。
その他 内部統制構築のための費用。

7 財務活動によるキャッシュ・フロー

社債償還による減少。

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	1,429	1,191	3,757	△ 0	6,377	14	△ 28	△ 14	50	6,413
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	0	0			1					1
剰余金の配当			△ 162		△ 162					△ 162
当期純利益			422		422					422
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 5	19	13	49	62
連結会計年度中の変動額合計	0	0	259	△ 0	261	△ 5	19	13	49	324
平成20年3月31日残高	1,429	1,192	4,017	△ 0	6,638	8	△ 9	△ 0	100	6,738

* 百万円未満は切り捨て。



会社概要

■ 会社概要 (2008年3月31日現在)

社 名 株式会社ニチダイ
 (英文表記) NICHIDAI CORPORATION
 証券コード 6467
 本社所在地 京都府京田辺市新北町田13
 創業年月日 1959年5月5日
 設立年月日 1967年5月1日
 資本金 14億2,992万円
 事業内容 精密金型の開発・製造・販売
 精密鍛造品およびその関連する成形品の
 開発・製造・販売
 各種ろ過装置および金属ろ過材料の
 開発・製造・販売
 各種焼結金属の開発・製造・販売
 精密部品の組立および開発・製造・販売
 従業員数 397名(連結)、322名(単独)

■ 主要な事業所 (2008年3月31日現在)

本 社 京都府京田辺市新北町田13
 宇治田原工場 京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14
 熊谷営業所 埼玉県熊谷市桜木町2丁目88番
 浜松営業所 浜松市中区高丘西1-10-20
 名古屋営業所 名古屋市千種区桜が丘295 第8オオタビル
 京都営業所 京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14
 岡山営業所 岡山県岡山市辰巳22-103 TCKビル

■ 役員 (2008年4月1日現在)

代表取締役社長 古屋元伸
 専務取締役 西村 讓 (ネットシェイプ事業統括
 兼 NICHIDAI AMERICA CORPORATION 社長)
 常務取締役 藤本光洋 (管理本部長)
 取締役 瀬川秀実 (国内営業ゼネラルマネージャー)
 取締役 島崎 定 (ニチダイプレジジョン株式会社副社長)
 取締役 畑中恵二 (海外営業ゼネラルマネージャー)
 取締役 平岩益夫 (ニチダイフィルタ株式会社代表取締役社長
 兼 THAI SINTERED MESH CO., LTD. 社長)
 監査役(常勤) 萩野雅章
 監査役 小原正敏
 監査役 堤 昌彦

■ 関連会社 (2008年4月2日現在)

ニチダイフィルタ株式会社

京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14

NICHIDAI AMERICA CORPORATION

(Kentucky) 1030 Fortune Drive Richmond, KY 40475, USA
 (Ohio) 15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA

THAI SINTERED MESH CO.,LTD.

Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo5, Tambol Pasak, Amphur
 Muang Lamphun 51000 Thailand

ニチダイプレジジョン株式会社

京都府京田辺市新北町田13

NICHIDAI (THAILAND) LTD.

Amata Service Center Building 2F, 700/2 Moo 1, Tambon Klongtamru,
 Amphur Muang, Chonburi 20000, Thailand

株式情報

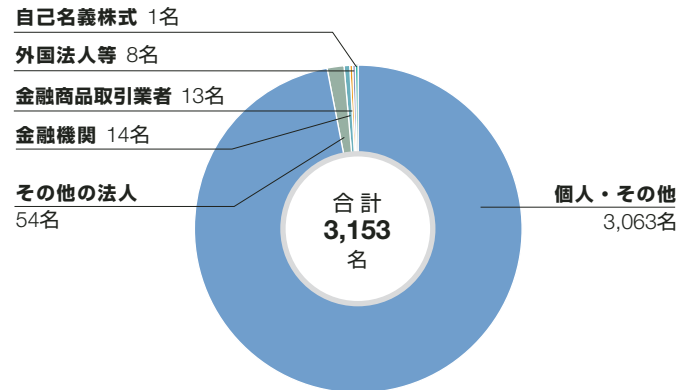
■ 株式の状況 (2008年3月31日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	3,153名

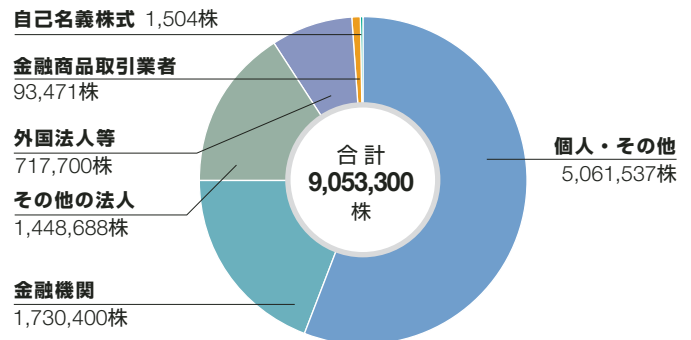
■ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	718,200	7.93%
田中善昭	572,092	6.31%
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリ ノーザントラストガンジーノントリーティークライアantz	440,400	4.86%
ニチダイ従業員持株会	324,844	3.58%
田中克尚	307,036	3.39%
株式会社三菱東京UFJ銀行	217,600	2.40%
大阪中小企業投資育成株式会社	174,000	1.92%
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリ ノーザントラストガンジーアイリッシュクライアantz	150,000	1.65%
あいおい損害保険株式会社	120,000	1.32%

■ 所有者別分布



■ 所有者別株式数分布



アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。
この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。
つきましては同封のアンケートハガキにご記入いただき、ご投函頂きますようお願いいたします。
今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

本 社 TEL.(0774)62-3481(代)



URL <http://www.nichidai.jp/>

ニチダイへの理解を深めていただくために、
ホームページをご活用ください。

ニチダイ硬式野球部が地元少年野球のチームと交流

2007年12月8日、当社の硬式野球部は、地元京都の京田辺市と宇治田原町の少年野球チームの選手を対象とした第2回「少年野球指導会」をニチダイ球場(当社宇治田原工場内)で開催しました。

昨年の指導会は子どもたちに大変喜ばれ、好評だったことから、今回は前回より40人多い116人の少年野球選手が参加し、キャッチボールやポジション練習に汗を流しました。

硬式野球部では、今後も野球を通じた地域との交流や社会貢献活動に努めていきたいと考えています。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-777(通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法 電子公告
当社ホームページ(<http://www.nichidai.jp/>)
にて掲載

単 元 株 式 数 100株

○なお、株式関係のお手続き用紙のご請求は、以下の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(フリーダイヤル) TEL.0120-244-479(本店証券代行部)
TEL.0120-684-479(大阪証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>